

## パヴィアの修道院

パヴィアは古い街です。パヴィアはローマ帝国後に、イタリアの首都であった時期もあります。そのパヴィアの街から北に9キロ、ミラノからだと南に30キロのところに、有名なパヴィアの僧院（修道院）があります。この僧院はルネッサンス期のロンバルディア様式芸術の最高傑作とされていますので、ぜひ、一度は訪ねてください。1396年にヴィスコンティ家の霊廟として建設されて、正面の大理石のファサード以外は15世紀には完成しています。正面の大理石のファサードは18世紀に完成しています。正面のファサードは、まるで、小型のミラノのドゥオモです。外壁は大理石の透明感に加えて、数々の彫刻が施されています。中も、フレスコ画、絵画、彫刻でいっぱいです。中庭もすばらしい。写真を見てください。でも、写真より、話を聞くより実物を見るのが一番です。

教会の玄関の前は、広場になっていて、土曜日には露天市が出ていました。観光客目当てですが、お菓子、骨董品などを売っています。教会の玄関をくぐると、ここから先は、写真・ビデオ撮影は禁止です。携帯電話も駄目です。但し、取り上げられたりはしません。この玄関の内面にもフレスコ画が描かれて、つい、ここで写真を撮ると注意されてしまいます。玄関を抜けると大理石のファサードが正面に見え、圧倒的な景観になります。教会の中に入ると修道士がガイドをしてくれます。イタリア語ですので何を言っているのかわかりませんが、この修道士についていかないと教会の奥と修道院の中には入れませんので、教会の途中しか見学できないことになります。教会の奥と修道院の中の方が見所はいっぱいあります。

豪華な教会の奥を見た後、修道院の中庭へと連れて行ってくれます。中庭は小さい中庭と大きな中庭の2つあり、両方とも回廊がめぐっています。小さい中庭は教会から直結していて食堂と客室があります。中庭もすごく綺麗ですが客室もすばらしい。客室には、最後の晩餐が描かれていて、ミラノのダヴィンチと比較してしまいます。大きい中庭はサッカーグラウンドほどもあり、周囲にバラの垣根がめぐらされています。回りは修道士の宿舎になっていて、各部屋から煙突が立っています。寄宿舎の内部も見学が出来ます。ここで、修道士のガイドによる内部ツアーは終了ですが、最後に修道士から喜捨を要求されます。修道士は10ユーロ札を束にしてちらつかせていますので、10ユーロ払うべきなのでしょうが、喜捨ですので金額は自由です。私は5ユーロ札を持っていたので、それを払いましたが、グラッチェと言われました。

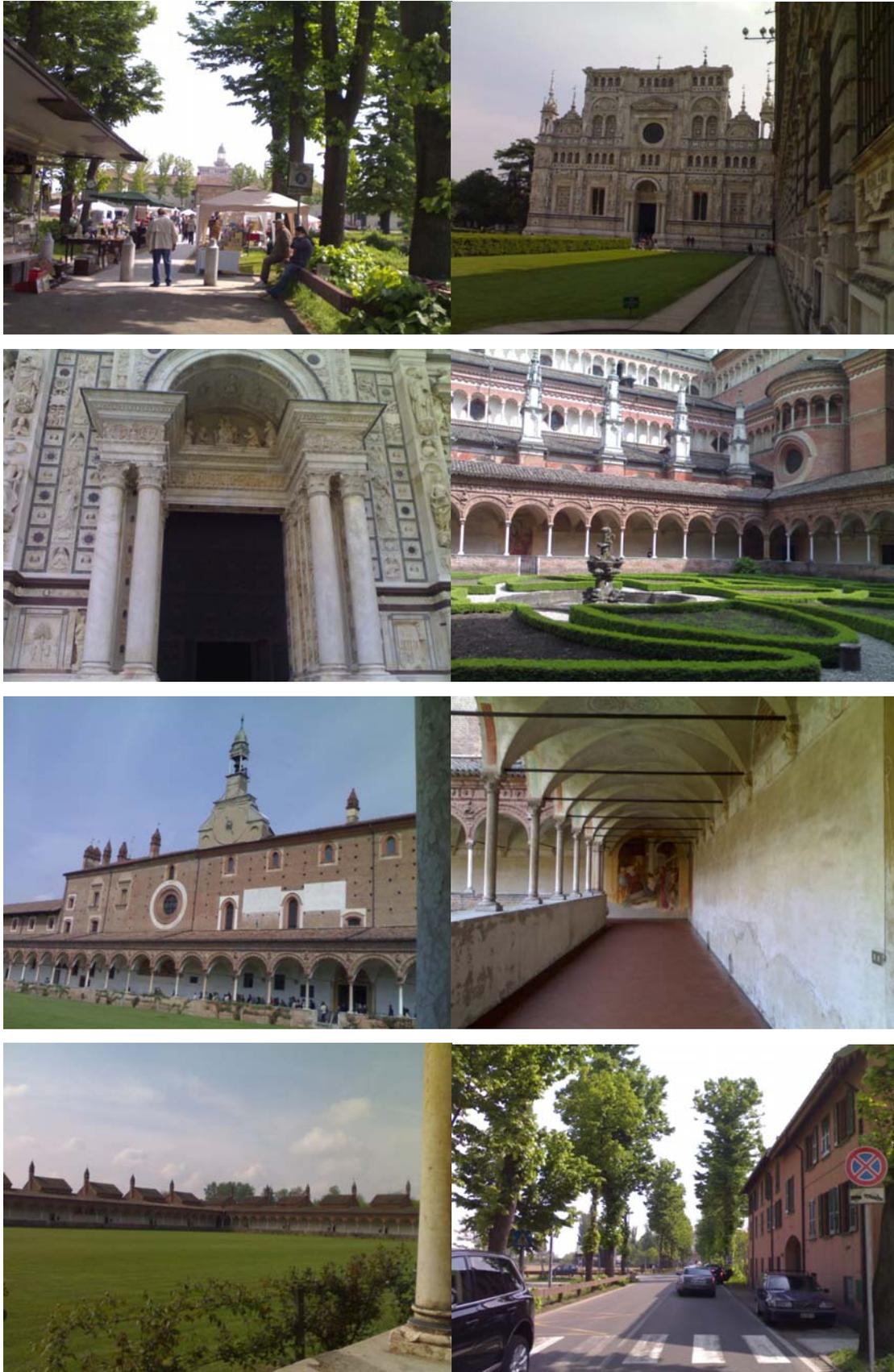
内部のツアーは1時間弱です。ツアーが終わり、出口に進むと、そこに売店があります。お土産、記念品、修道院で作ったものなどが売られています。規模は小さく、キアラヴァッレ修道院よりも品数、種類とも少ないくらいです。修道院で作られたものとしては、石鹸（6ユーロ）、リキュール・蜂蜜（9～10ユーロ）などが売られています。売り子の人も全員が修道士です。女性は一人も見当たりません。土曜日でしたので、小さな売店内は混みあっていて買うのも大変でした。

修道院へは並木道が続いています。道は舗装されていて車の通りも頻繁ですが、並木道には散歩道が並んでいて安全です。並木道の周りは、片側は畑ですが、もう片側は住宅街で高級な住宅が並んでいます。修道院前にも大きなレストランがありますが、並木道にも何件かのレストランがあります。サンドナート。サンジュリアーノの修道院に比べると、修道院自体も回りの環境もかなり商業化されています。

写真撮影は禁止ですので、撮影している人はほとんどいませんが、写真を撮りたくなるような環境です。他の観光客も同じで、誰かが写真を撮ると、待ってましたとばかりに写真を撮り始めます。その内、誰か

が注意されて、その時はそこまでで、また違う場所に行くと同じ事が繰り返されます。要するに、修道士の見てないところで最初に写真を撮るようにすれば、誰かが注意されたときには撮り終えています。

写真：



パヴィア修道院に行くには、2通りあります。修道院だけでなく、パヴィアの街の観光を考える場合は、ロゴレドから列車で行くのが簡単です。Trainitalia で時刻表（30分から1時間おきくらい）を調べてから出かけてください。ロゴレドの駅の窓口で Per Pavia, Uno で1人前が買えます。3.05ユーロです。ロゴレドからパヴィアまで急行なら1駅で18分です。直ぐについてしまいます。パヴィアの駅からは駅前の通りをミラノ方向に3分くらい歩くとバスターミナルがあり、そこからバス（Silaのバス）に乗ります。事務所の窓口でチェルトーザ（修道院の事）と言えば切符は買えます。料金は1.65ユーロです。切符はバスの運転手からも直接購入できます（私はそうしました）。バスは普通の定期バスですが、運転手のそばに座っていると、停留所に着くとチェルトーザと言って教えてくれます。パヴィアの駅から修道院の停留所までは10分くらいです。停留所のそばには2階建ての安ホテル、ホテルイタリア（名前だけは立派です）があります。サンドナートから地下鉄を含めて、合計で5.7ユーロです。

この停留所に行くには、ミラノからバスも出ています。M2のファマゴスタ駅（サンドナートから1ユーロ圏内で、30分ほど）のバスターミナルから乗る事が出来ます。バスはSilaとArfeaがあります。Silaはパヴィア行きでArfeaはアレクサンドリア行きです。両方ともチェルトーザ・ディ・パヴィアの停留所に止まります。料金は2.2~2.5ユーロですので、こちらのほうが安上がりです。切符はバスターミナルで購入できると思いますが、運転手からでも購入できるはずです。

チェルトーザの停留所から、ミラノ方向に2~30メートル歩くと右に曲がる道があり、そこを曲がって真直ぐ行くと修道院です。その道は1分くらいで街並みを抜けて並木道となります。街に近いところの道沿いには、レストランが結構並んでいます。但し、片側は住宅街です。1キロくらい歩くと修道院に到着です。修道院の入口には一軒家のレストランがあります。

帰りも、バスの停留所までは歩かなくてはいけません。帰りのバスの時間は、ちゃんと調べておいたほうが良いと思います。バス停の前の売店で聞けば教えてくれます。特に、日曜、祝日はバスの本数が少ないので注意が必要です。帰りは、パヴィアの駅に出るか、ミラノに出るかは、その後の計画によります。

#### 失敗談

私は、朝、ロゴレド発9時半の列車でパヴィアに着いたのは9時50分、直ぐにバスターミナルまで歩き、バスで修道院まで行きました。バスの待ち時間もほとんどなくスムーズだったので修道院のバス停に着いたのは、10時10分過ぎ頃です。あまりに順調だったので、帰りも問題ないと思い、帰りのバスも調べずに修道院に行ってしまいました。観光を終えて、バス停に戻ったのは、まだ12時ちょっと過ぎでした。売店でパヴィアまでの帰りのバスの切符を買おうとすると、今日は祝日なので2時10分までパヴィア行きは無いと言われました。それなら、タクシーを呼んで欲しいと言うと、タクシーはパヴィアから呼ぶので往復料金になり高くつくからやめたほうが良いとのこと。要するにパヴィアに行くには2時間待つしかないとのこと。但し、ミラノに行くなら、12時10分にバスがあるとされたので、結局パヴィアはあきらめてミラノに戻ることにしてしまいました。ミラノまでは2.2ユーロで、運転手から切符を買って乗り、わずか30分で到着。ドゥオモまで戻っても、まだ午後1時過ぎでした。時間の効率は良かったのですが、パヴィア観光が出来ませんでした。ですから、日曜・祝日は帰りのバス（特にお昼の時間）は、調べておいたほうが良いと思います。